

第62回「協同教育研究会」開催のご案内 (最終回)

研究会代表 安永 悟
(久留米大学 文学部)

随分と秋めいてきましたが、皆さんお元気でしょうか。ご多用の日々を送られていると思います。

さて、第62回「協同教育研究会」の準備が整いましたのでご案内いたします。詳しい内容は下記の通りです。皆さんの参加をお待ちしています。参加を希望される方は、協同教育研究所のホームページ(HP)から申込をお願いします。これまで同様、当日参加も受け付けます。案内が直接届いていない方も歓迎します。

*

本「協同教育研究会(旧称・授業づくり研究会)」、この第62回をもちまして一区切りを付けたいと考えています。理由は研究会代表の安永が今年度で定年になるためです。長年にわたり、本研究会に参加していただいたすべての皆さんに心より感謝申し上げます。

そこで最後の研究会では、これまで日本の協同教育を牽引されてこられた杉江修治先生、石田裕久先生、関田一彦先生をお招きして「日本の協同教育の現在・過去・未来」について参加者の皆さんと語る会にしたいと思います。

なお、関田先生も今年度で定年を迎えるとのことで、日本協同教育学会設立に関わった4人全員が定年となります。

*

本研究会は初年次教育学会の「初年次教育実践交流会」、日本協同教育学会の「九州地区研究会」、全国個集研の「支部研究会」としても認めてもらっていました。関係団体各位のご理解とご支援に深く感謝申し上げます。

また、久留米大学の関係者の皆さんにも感謝申し上げます。本研究会の開催にあたり、会場を提供いただき、諸々の事務手続きを引き受けさせていただきました。また、長らく運営資金の援助もいただきました。心よりお礼申しあげます。

最後に、研究会の企画・準備・運営に携わっていただいた安永研究室の皆さんにお礼申しあげます。皆さんのお陰で、久留米大学を会場とした協同教育の研究会を、これほど長く開催することができました。本当にありがとうございました。

なお、今回の研究会は科学研究費の支援を受けています(代表・安永悟、課題番号24K06274、テーマ:グループ学習苦手学生の特性と指導法 -LTD授業モデルと不確定志向性の観点から)。

記

1. 日 時 : 2026年2月14日(土) 13時30分～17時10分
2. 場 所 : 久留米大学御井本館3階 13BC 教室
<http://www.kurume-u.ac.jp/soshiki/3/access.html>
3. 参加資格 : 協同教育、協同学習、および「協同」一般に関心のある方
4. 参加費 : 無料
5. 参加申込 : 協同教育研究所「結風」のHP (<http://yuikaji.me/>) の
「イベント参加受付」からお願いします。記入にあたっては次の
(注意) を参考にしてください。
(注意)
 - ・イベント名：「協同研62回」
 - ・イベント開催日「2026/2/14」
 - ・携帯電話番号はハイフンなしで。例「09012345678」
 - ・返信がない場合は下記「問合せ先」まで連絡ください。

6. 研究会テーマ：「温故知新」

日本協同教育学会は2004年に設立されました。それ以前にも「協同的な学び」に関心をもつ研究者や実践者が全国各地で活動していました。その歴史は古く、研究と実践の分厚い蓄積がありました。しかし、全国の研究者・実践者の活動は分断されており、一堂に会して議論する場はありませんでした。そこで、2003年に開催された日本教育心理学会の総会で「学校教育における協同学習の再生」をテーマにシンポジウムを開催しました。このときの想いこそが、「温故知新」そのものでした。それまで積み重ねられてきた研究や実践を正しく評価し、今後の活動に活かしたいという想いが強くありました。

日本協同教育学会は今年度で設立22年目を迎えました。この間、日本の教育現場も大きく変化しました。また「協同的な学び」に関する多様な理論的背景による研究・実践もさらに充実してきました。2010年頃から盛んになったアクティブラーニングの流れを受け、協同学習や協同教育への関心も高まりました。一方で、協同学習が、いまだに単なるグループ学習と同一視されることもしばしば見受けられます。さらに、アクティブラーニングに対する新鮮みが徐々に薄らいできており、その結果、協同学習や協同教育への興味も低下している印象もあります。

こうした背景から、改めて、協同学習と協同教育のこれまでの歩みを振り返り、今後のさらなる発展を期待し、「温故知新」の想いを新たにしたいと考え、最後の研究会テーマとしました。

7. 研究会の内容

- (1) 挨拶・導入 10分 (13:30-13:40)
- (2) 話題提供 「LTD話し合い学習法のこれまでとこれから」 60分 (13:40-14:40)
 - a. 講 師: 安永 悟 (久留米大学・文学部)
 - b. 内 容: LTDは1960年代に米国で開発され、日本には1995年に導入されてから今年で31年になります。この間、高等教育の現場を中心にLTDが導入され、多くの実践と研究が蓄積されてきました。

本話題提供では、LTDに関する実践と研究をレビューし、LTD授業モデルの開発と実践について最近の事例を通して解説し、LTDの「これまで」と「これから」を検討します。

(休憩 15分)

(3) 座談会 「協同教育のこれまでとこれから」 125分 (14:55-17:00、含休憩15分)

- a. 登壇者： 杉江修治（元・中京大学） 石田裕久（元・南山大学）
関田一彦（創価大学） 安永悟（久留米大学）
- b. 司会： 小松誠和（久留米大学・日本協同教育学会 会長）
- c. 内容： LTDを中心とした話題提供をひとつの手がかりとして、日本の協同学習や協同教育について、登壇いただいた皆さんのが想いを語り合ってもらいます。その際の検討内容は、次のように想定しています。各項目に関する登壇者の対話の後、参加者の皆さんも含めた対話を予定しています。
 - ① LTD話し合い学習法についての評価と期待
 - ② 日本の協同学習・協同教育についての評価と期待
 - ③ その他

(4) 記念撮影 5分 (17:00-17:05)

(5) 閉会 5分 (17:05-17:10)

8. 情報交換会（懇親会）のお知らせ

研究会終了後、下記の要領で情報交換会（懇親会）を開催します。

参加希望者は上記「5. 参加申込」と合わせて2026年2月6日（金）までに、協同教育研究所「結風」のHPから申し込んでください。

場所： 久留米大学御井学舎学生会館2階・レストラン「櫻（けやき）」

時間： 18時00分~20時00分

会費： 5,000円

(注意) 直前の取り消しには応じかねます。

不参加でも参加費を徴収しますので、予めご了承ください。

問合せ先： ご不明な点があれば、次までお願いします。

office@yasunaga.me

以上